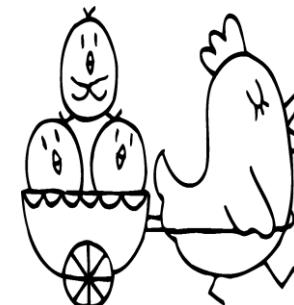


ひよこだより

草笛学園 2025年 10月号



本格的な秋の訪れに外あそびを楽しんでいる子どもたち。昼夜の気温差が大きい季節であるので、健康面には十分気を付けていきたいと思います。お散歩などでどんぐりや落ち葉に触れることが増えてきます。色や音、手触りや匂いなどでも秋を感じていきたいですね。

◎心が揺れる「あせる」子育て

早期教育が浸透し、少しでも早く「できる」ことがよいことだと思われています。乳幼児期から、字を教える、塾に行く、英語を教えるなどなど、上げればきりがありません。

「うちはさせない」と、早期教育に無理の子育てをしていても、ご近所同士の親同士の会話や、頻繁に送られてくるダイレクトメールに心が揺れることもあるでしょう。

学校では「ゆとりの教育」と言われていますが、乳幼児期の子どもをもつ親は、本来、ゆったりと子どもとつきあうことが求められる時期なのに、「ゆとり」から最も遠いところにあるようです。「しつけ」もできるだけ早いほうが効果的だと、子どもの発達の段階を無視して行う事もあります。食事を行儀よく食べる「しつけ」は大切なことです。しかし、あたりまえのことですが、自分で食べるようになる一、二歳の頃は、好きなものばかり食べたり、散らかしたり、ご機嫌が悪いと食べないと、とても自分勝手な行動をします。親としては、食べ物に感謝し、好き嫌いなく何でも食べる子に育てたいと思いますが、この時期の子どもはその期待にはなかなか応えられません。大切にしたいのは、楽しくみんなで食事をすることですが、できるだけ早く「しつけ」をとあせり、嫌いなものを残したり、ごはんをこぼすと叱ってしまいます。結局、子どもは泣いてしまい、険悪な雰囲気がただよい、楽しい食事が台なしになってしまいます。おもちゃの取り合いも、二歳頃から頻繁になります。人の持っているものが欲しくて取ってしまう、これも子どもが通る発達の過程です。反対に人には見向きもせず、自分の世界でいるほうが心配です。ところが、「思いやり」の気持ちを教えなくてはとあせり、「『ごめんなさい』は！」と無理やり子どもの頭を押さえて言わせます。いずれ自分と他人の物の区別がつき、言葉で要求できるよ



うになれば、このもめごとは次第に解決していきます。この時期であれば、親が「ごめんなさい」と子どもに代わって謝ればよいのです。

なんでも早くから教えればよいのではなく、子どもの理解度や発達の応じた「しつけ」が必要です。焦るばかりで子どもと噛み合わない子育てはイライラがつのります。

『いつからでもやりなおせる子育て』 池添素

※個別相談も行っています。職員とゆっくり話がしたい、子どもの発達状況を知りたいなどございましたら、担当職員の方にお知らせください。

次回のひよこ教室は…

ひよこ教室①…11月 1日（土） 9:20～11:15

→さんぽをします

◎持つて来るもの…シューズ・着替え・水筒・帽子 ○動きやすい服装・靴

ひよこ教室②…11月 15日（土） 9:20～11:15

→さんぽをします

◎持つて来るもの…シューズ・着替え・水筒・帽子 ○動きやすい服装・靴

★保護者の方も動きやすい服装でお願いします♪

『参加される皆様へ』 ~ご協力ををお願いします~

- ・お休みをされる場合は、学園までご連絡ください
- ・参加費は無料です。（おたよりがホームページに掲載され、通信費が必要ないため）製作やクッキングの活動の時には材料費として100円いただきます。その都度連絡します
- ・水分補給のため、お茶を用意して下さい（ジュース類は控えてください）
- ・きょうだい児の参加はご遠慮ください。預け先がない場合は事前に職員までご相談ください。
- ・トラブルによるケガ防止のため、参加前に爪を必ず切ってきてください